

雨降った後、太陽が出てくると虹が見える事があります。虹は空気中の塵が雨によってきれいになり、太陽に照らされないと見る事ができません。また、太陽の光が当たる方向によっても見る事ができません。この虹を見ると神と人との契約を思い出します。ノアの洪水の後、神はノアに約束しています（創世記9章）2度と洪水で地上を滅ぼす事しない約束のしるしとして雲の中の虹があると書いてあります。私たちは虹を見ると、ノアの記事を思い出し神との約束を思い出すことができます。この他にも聖書は神と人との約束で溢れています。そして私たちの日々の生活の中においても、神との約束をしてきました。しかし約束をした事を忘れてしまっていては意味がありません。約束は覚えているから守る事ができます。私たちは今日、神との約束を思い出す必要があります。そして虹のように私たちの心が綺麗にならないと見る事ができません。心の内にある罪や汚れやうごめく欲、自己中心などによって消されてしまっていないでしょうか。私たちの罪はイエスキリストの十字架によって赦されました。もう一度約束を思い出すためにも、自分を見つめなおしていきましょう。

（Ⅱコリ12：9～10）私たちは今まで様々事を経験してきましたが、すべては自分の「弱さを知る旅」ではなかったのでしょうか。私たちは自分の力で生きていたように感じていたかもしれません。しかし実際は困難に直面し、自分の弱さや無力さを認め続けている感じではなかったのでしょうか。聖書に出てくる人物たちも自分の弱さや無力さを知り、神に頼ることができたからこそ神の素晴らしさが現されていきました。ノアも目の前で洪水に飲まれていく人々を見て、どのように思ったのでしょうか。アブラハムも信仰の父とよばれるまで、幾度も失敗をしました。モーセも殺人を犯した後の荒野での40年間の生活の中で、自分の弱さを知りました。ヨシュアもモーセが十戒を受けるために民の前から不在の時、金の子牛を作るのを阻止する事ができませんでした。このことから、モーセの後継者として民を率いていくことの難しさを痛感していました。そんなヨシュアに神は2つの約束をしています（ヨシュア1：3～10）①あなたと共にいる②あなたを見放さず、あなたを捨てない。このように、ヨシュアは3度も強くあれ雄雄しくあれ、私はあなたと一緒にいると語られる位、自分の無力さを知っていました。そして自分の弱さと向き合った後の行動が肝心です。旧約聖書の人物たちは、神は自分を愛してくださり、困難を乗り越える力を与えてくれると信じました。その時に神の力が現されてきました。アブラハムは信仰の父と呼ばれるようになり、1人息子イサクを捧げました（創世記22章）またモーセは出エジプトを導きました。ヨシュアはカナン地の制圧の道を開きました。これらはすべて人の力ではなく、神の力によってでした。（マタイ22：36～39）ここでイエスキリストは旧約聖書で与えられた十戒を2つの約束にまとめました。1～4戒は神との約束、これを『心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』とまとめ、5～10戒の人との約束を『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ』としました。私たちは自分の弱さを知り、神に求めた時に周りの人々をも愛する事ができます。サムソンは神の力が注がれている時には罪を犯していました。しかし力がなくなり、自分の弱さと向き合った時、それまで以上の神の働きをしながら殉教していきました。そのように弱さを知り、自らが赦されていることを知った時、多くの人を愛することができるようになります。聖書は自分の弱さを知った人々の物語ともいえることができます。ヨシュアに語られた“強くあれ”はヘブル語で「ヒゼグー」が使われています。これは“強くする”という意味があります。元から強い人を強くするという言葉ではありません。弱い人だからこそ、主によって強くするのです。“雄雄しくあれ”とはヘブル語で「ハザクー」という言葉が使われています。これは“奮い立つ”という意味です。私たちは自分の弱さを認め、神の前にさらけ出す人が主の力に頼る事ができます。弱さを隠し持っていては神の助けを得る事はできません。神の約束を見てみると、たとえ私たちが罪を犯したとしても、約束は変わりませんでした。しかし心にある罪や欲望、汚れた思いによって約束が見えなくなってしまう場合があります。今日、私たちは自分の持っている罪を、自分のプライドを捨てて、弱さを認めて祈っていきましょう。そうするとき、私たちに与えて下さった、2つの約束、①あなたと共にいる②あなたを見放さず、あなたを捨てない神が私たちに力を与えてくれます。今までできなかった事ができるようになります。神の約束した地へ進んでいくことができます。今週は自分の弱さと向き合い、祈っていきましょう。（要約者：平澤一浩）